

自然に学び自然を守る



非選択性茎葉処理型除草剤

サンダーボルト®

007 ダブルオーセブン



(写真はイメージです)

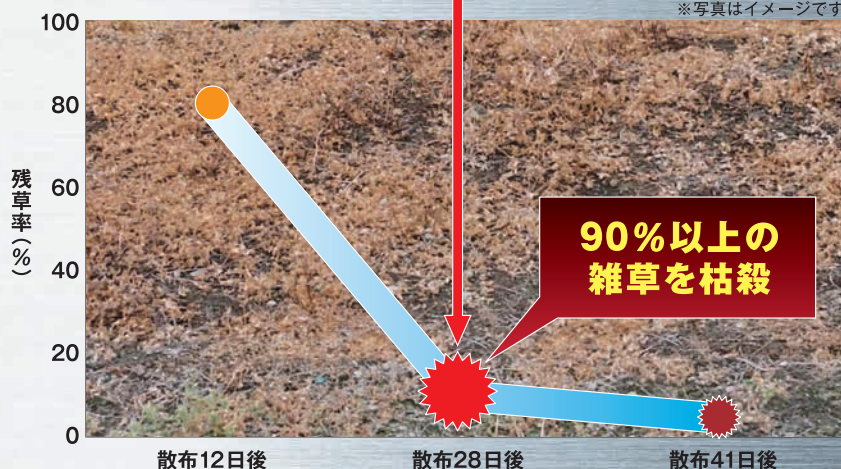
寒さに強く
確実に任務をこなす
タフなヤツ。

野菜類に
適用拡大



低温時でもタフに雑草を枯殺!!

薬剤処理後1週間の
平均気温
4.2°C
最高気温: 14°C
最低気温: -2.1°C
冬季処理における除草効果試験結果
日本農薬(株)総合研究所 所内圃場
処理日: 2003年2月12日 使用薬量: 500mL/10a



※写真はイメージです

春先の使用が
ポイントです

低温時でもタフに効くサンダーボルト007なら、春先に問題になる雑草をしっかり枯殺します!!

セイヨウタンポポ・ヒメオドリコソウ・ホトケノザ・スギナ・ヤエムグラ・アメリカアサガオなど

早めの散布で、雑草が種子をつける前に枯らすことにより、後からの発生を抑制できます!!

非選択性茎葉処理型除草剤
サンダーボルト®



有効成分：グリホサートイソプロピルアミン塩…30.0%
ピラフルフェンエチル…0.16%
安全性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

■特長と上手な使い方

2つの有効成分を1剤に凝縮。
それがサンダーボルト007の効き目の秘密です。

すばやく効く	+	根まで枯らして長く効く
ピラフルフェンエチル		グリホサートイソプロピルアミン塩

緑地管理地(公園、庭園、堤とう、道路、運動場、宅地、鉄道、のり面等)の場合

- ①100倍液の散布が基本です。
- ②雑草の茎葉全体が“シットリ濡れる”ように散布してください。
- ③散布の際には“キラナシノズル”を使用してください。



■適用雑草名・使用目的および使用方法

2022年8月適用拡大

(2022年8月現在の登録内容)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量				
果樹類(かんきつ、パイナップルを除く)		一年生及び多年生雑草		収穫7日前まで(雑草生育期)	400~1000mL/10a		3回以内		3回以内	3回以内
野菜類 (きゅうり、トマト、なす、アスパラガス、ほうれんそう、たらのぎ、レタス、オリーブ(葉)、びわ(葉)、ピーマン及びとうがらし類、にんじん、薬用にんじん、だいこん、ねぎ、たまねぎ、豆類(種実)、えだまめ、かんしよを除く)		一年生雑草	-	耕起前又は定植7日前まで(雑草生育期)	400~600mL/10a	1000L/10a	1回	雑草茎葉散布	3回以内	1回
				耕起前又は定植7日前まで(雑草生育期)					3回以内	2回以内
				耕起前又は定植7日前まで(雑草生育期)					3回以内	10回以内(1年間に2回以内)
				耕起前又は定植7日前まで(雑草生育期)					3回以内	2回以内
				定植後畦間処理: 雑草生育期但し、収穫30日前まで					3回以内	3回以内
				耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)					1回	2回以内
				耕起前又は定植10日前まで(雑草生育期)					2回以内	4回以内
				畦間処理: 雑草生育期但し、収穫前日まで					2回以内	4回以内
				は種後出芽前(雑草生育期)					1回	3回以内
				耕起前又は定植10日前まで(雑草生育期)					1回	4回以内
雑草(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)		一年生雑草	-	耕起前又は定植10日前まで(雑草生育期)	400~600mL/10a	1000L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回	1回
				耕起又は挿苗7日前まで(雑草生育期)					2回以内	1回
だいず		一年生雑草		畦間処理: 雑草生育期但し、収穫前日まで	400~600mL/10a	1000L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	4回以内	4回以内
らっかせい		一年生雑草		は種後出芽前(雑草生育期)					1回	3回以内
えだまめ		一年生雑草		耕起前又は定植10日前まで(雑草生育期)	400~600mL/10a	1000L/10a	1回	雑草茎葉散布	2回以内	1回
かんしよ		一年生雑草		耕起又は挿苗7日前まで(雑草生育期)					2回以内	1回
小麦		多年生雑草		耕起前(雑草生育期)	500~1000mL/10a		2回以内		3回以内	2回以内
水田作物(水田畦畔)	水田畦畔	一年生及び多年生雑草	草丈抑制による刈込軽減	収穫14日前まで(雑草生育期)	400~600mL/10a		2回以内		3回以内	2回以内
水田作物(水稲を除く)		一年生雑草		雑草生育期または刈取後再生期但し、収穫14日前まで	50~150mL/10a		2回以内		3回以内	2回以内
移植水稲		一年生雑草		耕起20~10日前(雑草生育期)	400~600mL/10a		1回		2回以内	1回
直播水稲		一年生雑草		雑草生育期	500~1000mL/10a		2回以内		3回以内	2回以内
水田作物、畑作物(休耕地)	休耕地	一年生及び多年生雑草		雑草生育期	400~600mL/10a		1回		1回	1回
水田作物(水田刈跡)	水田刈跡	一年生及び多年生雑草		雑草生育期	500~2000mL/10a		1回		1回	1回
茶		一年生及び多年生雑草		摘採7日前まで(雑草生育期)	400~600mL/10a		2回以内		2回以内	2回以内
きく		一年生雑草		耕起前又は定植前まで(雑草生育期)	400~600mL/10a		2回以内		2回以内	2回以内
牧草	牧野・草地	一年生及び多年生雑草		更新・造成10日前まで(雑草生育期)	400~750mL/10a		1回		3回以内	3回以内
樹木等	公園、庭園、堤とう、道路、運動場、宅地、鉄道、のり面等	スギナ		雑草生育期	500~1000mL/10a		3回以内	※	3回以内	3回以内
					1000~4000mL/10a					

※植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布

⚠ 使用上の注意事項

- グリホサートを含む混合剤であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 農薬を混ぜる必要はありません。
- 土壌が流れたり、くずれたりするおそれのある所では使用しないでください。
- 激しい降雨が予想される場合は使用をさけてください。
- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件下では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように注意して散布してください。また、スギナの再生を長期抑制したい場合には、薬量を3000~4000mL/10aに設定することが望ましいです。
- 多年生雑草およびツクサ科雑草を主対象に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用してください。
- 作物の出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布してください。
- 生育期散布に使用する場合には作物にかからないよう十分に注意して散布してください。
- 本剤の散布適期は雑草生育期(草丈30cm以下)なので、時期を失しないように散布してください。なお、きくに使用する場合は薬量1000mL/10a以上で使用する場合は(スギナを除く)は、草丈50cm以下が散布適期です。
- 水田畦畔で薬量を50~150mL/10aで使用する場合は、草丈20cm以下を目安に処理してください。
- 農作物や有用植物にかかると強い薬害を生じるので、風向きなどに十分注意してかからないように散布してください。
- 水田への飛散、流入等により水稲に薬害が生じるので十分注意してください。
- 散布液を調整した容器及び器具は使用後石けん水等で十分洗浄してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、特に以下のことに注意してください。
 - ①水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
 - ②散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に關係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用済りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●殺虫剤・殺菌剤とのタンクの共用はさけてください。
●散布器具、容器(タンク、ホース等)は除草剤専用のものを用いてください。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページ <http://www.kumiai-chem.co.jp>

2207(22-11)